

## 柿の効用 旬を味わう



弊社顧問 陶恵栄氏

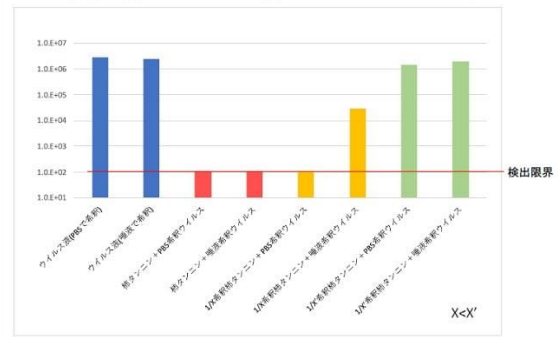
経済ジャーナリスト莫邦富氏は日本経済新聞中文版2020年11月13日付の記事「柿子編織日本金秋風景線」で、柿の新型コロナウイルス抑制効果の実験\*を取り上げ、「柿が赤くなると医者が青くなる」のことわざを引用しました。そういえば、「トマトが赤くなると医者が青くなる」のことわざも聞いたことがあり、調べてみると、なんと欧米の昔からのことわざでした。さらに「林檎が赤くなると医者が青くなる」の言葉もあるそうで、それも英語の「An apple a day keeps doctor away.」で、意味は「1日1個のりんごは医者をお遠ざける」です。中国でも「上床萝卜下床姜，不劳医生开药方（夕方に大根、朝に生姜、医者のお薬はいらぬ）」の健康ことわざがあります。食材の特徴と身体リズムを合わせると健康になるとするのは先人の知恵でしょう。

人類の共通知恵、旬のものは身体にいい、その季節に流行した病気の予防にもなり、現代科学の研究により、その知恵を分かりやすいように、知識に切り替えて、人類の知恵を理解する方法として、参考になるでしょう。

\*2020.09.16「柿タンニンの新型コロナ不活性化作用、奈良大学などが基礎研究で明らかに」奈良県立医科大学（奈良医大）と一般社団法人MBTコンソーシアム（MBT）は15日、柿タンニン（柿渋）が新型コロナウイルスに対して有益な研究成果を得られたことを発表した。

研究では奈良医大の免疫学・伊藤利洋教授、微生物感染症学・矢野寿一教授らの研究チームによって行われた。研究そのものについては基礎研究であり「新型コロナウイルス+唾液」「新型コロナウイルス+唾液+柿タンニン」を比較し、後者で新型コロナウイルスの不活性化（最大10万分の1まで）を確認した。実験条件はヒトの口腔内と類似しており、柿タンニンによる新型コロナウイルスの不活性化が口腔内でも起きる可能性を示唆したと考察した。

唾液中の柿タンニンによる新型コロナウイルスの不活化



## 健康維持・美容に水素ガスと三位一体の優芳舞(高麗人参-杜仲葉+Collagen)

様々な環境因子により発生する活性酸素は、生体成分を酸化させて、ダメージを与え、さまざまな疾患の原因になるとされています。**水素**の抗酸化より活性酸素の中和、無毒化が可能とされ、また、**三位一体のコラーゲン優芳舞(高麗人参-杜仲葉+Collagen)**が健康維持・美容に最適です。優芳舞は弊社で販売中。

優芳舞



プロフィール

1933年 滋賀県草津の山、伊吹山麓に生まれる。  
東京大学にて薬学博士取得  
日本大学薬学部大学院教授  
カリフォルニア人間科学大学客員教授を経て、  
西北農林科技大学名誉教授  
優芳舞開発製造

MINTECH  
水素発生器



高橋周七

### 編集後記

今年はいつもの以上にあつという間に、師走が到来した気がしますね。今年には新型コロナウイルスに振り回された一年でした。マスク着用が当たり前、感染症対策が当たり前となった昨今ですが、それでも冬を迎えるころから感染が拡大に歯止めがかかりません。一人一人気をつける。これに尽きるかもしれません。年末にかけてみなさまが穏やかに平和に過ごせますように。

健康が一番のしあわせ

HAPPY!



MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-24-5

協新ビルディング401号室

TEL 03-5669-0986

FAX 03-5669-0987

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/